



くるわ 廓2を望む（大字田黒地内）

5月の連休に国指定史跡小倉城を描きに出かけた。玉川の直売所で弁当を調達し、大福寺の駐車場から登り始める。鳥の囀りを聞きながら、木漏れ日の山道を登ること15分ほど。眼下に嵐山町の家並み、都幾川の流れが見え、遠くに都会のビル群が見える。見晴らしのよい丸太の腰かけで弁当を食べ、歩き出すと、ほどなく廓2に到着。来た道を少し戻って振り返ると、新緑の木立から「小倉城跡」の幟端が見える。今回はこの場所を描いてみることにした。



【編集後記】今月号で広報担当を卒業することになった。取材や撮影を通して、町民の皆さんの温かさや、新たな景色との出会いなど、ときがわ町の良さを再認識した2年間であった。慣れ親しんだ環境ほど、いつしか当たり前になってしまうもの。その当たり前の日常に感謝し、ふとした瞬間の小さな気づきに幸せを感じる——。そのような日々の幸せを、広報を通して届けることができたら嬉しく思う。今まで読んでくださった皆さまへ、心より感謝を。【笠原】

